

【タイトル】自分で作った地球ゲーム

【概要】

変えることが出来ないと思っ込んでいる自分の人生は、実はただのイリュージョン。それが、深い眠りの中で見ているただの夢に過ぎないのだと気がつく時、眠りから覚めて本格的に自分の人生を創り変えることが始まる。そして、今まで感じていた不足感、欠乏感、孤独感を味わう分離の世界から抜け出せないと思っ込んできたことも全部イリュージョンだと気づき、本当は全ての存在が絆でつながっていて、大きな美しいパズルを完成させていることにも気がつく。その様な内容を、絵本を通して感じて頂きたい内容です。世界のどこかの誰かにこのメッセージが絆を通して届けばと思っます。

【想定する読者ターゲット】

- ① 絵本が好きな子どもから大人まで
- ② 自分の人生はもうこれ以上向上させることが出来ない感覚で悩んでいる人
- ③ 悩んでいる仲間に何か声をかけてあげたいと思っている人
- ④ 世の中の全てが絆で繋がっていると信じている人

【構成案】（概略）

地球に生まれ、自分の境遇に、眼の前に広がる現実に翻弄される日々。華やかに活躍する人たちと比べて、自分には才能も、人脈も、お金も、時間も何も無いような惨めな気持ちになる日々。あらゆるものから分離された孤独な感覚。そこから抜け出そうともがくものの、状況を変える事はできずただ時間が流れていくだけ。しかし、ある日、眼の前の現実は、自分で自分に仕掛けた地球ゲームであると知ることになる。今まで変えられないと思っ込んでいた現実は全て自作自演のイリュージョン。深い眠りの中で見ているただの夢。そして、自分で作り出したゲーム設定であれば、自分で再設定可能であることに気づく。本当は分離ではなく全てが絆で繋がっていることに気がつく。その仕組に気づいた今、やっとここから自分史上最高の人生創造が始まる。さあ、改めてここから何を選択しようか。

第1章 宇宙ゲーム

- 自分は、本当はどんなことでも簡単に軽やかに出来る大きな宇宙の存在である。
- ただ、あまりにも簡単に出来ることがちょっと物足りなくなった存在でもある。

第2章 地球ゲーム

- 不自由さ、困難さ、ネガティブな感情を体験出来るスリリングな世界を味わってみたいと思った自分
- せっかくなので、いろんな困難をデザインし、その中でもがき苦しみ、そして、そこから這い上がることで経験値を積み、成長するゲームをしてみようと思っ自分
- そんなことが体験できるのが地球ゲーム

第3章 地球ゲームのルール

- ゲーム開始と同時に全ての記憶をなくす。ゲームの中にも、ゲームをしに地球に来たことも、そして、そもそもゲーム設定の詳細を決めたのが自分自身であることも、その設定内容も全て忘れてゲームが始まる。
- 何も出来ない、何も覚えていない赤ちゃんから始まる。
- 宇宙ゲームで体験出来なかったあらゆるネガティブな出来事、ネガティブな感情を経験出来る。あらゆる困難、不自由さの中で経験値を積み上げるゲームであるため、ゲーム開始前にどこまでスペックを落として、どんな困難を経験するか全て決めてからゲームを始める。

第4章 ワクワクから絶望

- スリルを味わいたくて自分で選んで、真剣に遊び始めた地球ゲームのはずが、いつの間にか深刻になり、絶望感の中うんざりし始める。
- 宇宙の記憶がないので、何で地球にいるのかもわからない、何でこんなに苦しいのかも変わらない。先の見えない苦悩の日々を徹底的に味わう。

第5章 バグ

- 地球ゲームの最中に、ゲームの仕組み、設定を思い出すことも出来る
- ゲームの仕組みを思い出してしまうと、夢から目が冷めた様に目の前の困難が全てイリュージョンであることに気がつく。
- 自分でゲームを作ったのであれば、自分でゲームを作り直すことも出来ると気がつく。

第6章 選択

- 全て自由意志のもとにどんなものも選べると言う完全性
- これまでの不自由さすら全て意図した選択であったと言う完全性
- これまでの地球ゲームと宇宙ゲームが融合し完全性に気づけると言う新しい地球ゲーム、地球と宇宙の新しい絆の始まり。新しい創造にむけてここから何を選択していくか。

【サンプル原稿】

自分で作った地球ゲーム

(以下、絵本なのでそれを挿入します)

本書では、改めて自分の人生の豊かさ、自分もつ人生の創造力に気が付く気かけになるメッセージを入れてあります。それを通じて、自分自身は分離した孤独な存在ではなく、あらゆるものと強い絆で繋がった恵まれた存在であることも同時に実感出来ると思います。激動の時代の渦に翻弄されている人に、少しでも何かを御役に立てればと思います。

[以上となります。よろしく願いいたします]

自分で作った地球ゲーム



1

何でも一瞬で願いが叶ってしまう世界

2



あなたは素敵な仲間がたくさんいて、何でも成りたいものになれて、欲しいものがすぐに手に入って、頭もよくて、運動も出来て、スタイルも良くて、おしゃれで、顔も良くて、何もかも思い通りのそんな宇宙ゲーム。とても平和で、辛いことが一切ないそんな宇宙ゲーム。

3

完全無欠の宇宙ゲーム

4

何もかも簡単に出来てしまうそ
んな宇宙ゲーム。願ったことが
何の苦労もなく瞬時に叶うそん
な宇宙ゲーム。

難しさの無い世界、歯ごたえの
無い世界、努力のない世界、そ
んな宇宙ゲーム。

5

でも何かつまらない、、、

6

すぐに願いが叶わない刺激がほしい

7

もう少し、ハラハラドキドキがあっ
て、難しさを感じて、時に怖くて、
時に悲しくて、時に本気で怒って、
時に絶望感まで味わえる様な、そん
なスリリングで刺激的な経験を心の
どこかで望んでいるのに、それを体
験出来ない宇宙ゲーム。

それを可能にするのが地球ゲーム。
宇宙ゲームでは決して体験出来ない
スリルいっぱい地球ゲーム。

8



9

地球ゲームのルール

10



ゲームであることをすっかり忘れて、リアルな現実であるかの様に、地球ゲームにのめり込むためのルール確認。

このルールに同意してから始める地球ゲーム。ゲームの詳細を自分で決めて始める地球ゲーム。

11



どんなスリルやピンチを体験するか、一緒に地球に行くお友達とたっぷり計画をして、先生からは地球で遊ぶ時の注意事項をいっぱい教えてもらって始める地球ゲーム。

12



これから始まる地球ゲームにワクワクが止まらない準備期間。

地球ゲームで体験出来ることが待ち遠しくて仕方がない準備期間。

13

不完全さを味わう地球ゲーム

14

宇宙ゲームでの自分完璧さをどこまで壊して、どこまでスペックを落として、どこまで自分を不自由の中に追い込むのか、自分で全部決めてから始める、そんな地球ゲーム。

その不自由さから這い上がり、どんな経験値を積んで成長するのか。自分が求めるテーマを全部決めてから始める、そんな地球ゲーム。

15

深い眠りに入って、夢の中で全ての記憶をなくして始める地球ゲーム。
ゲームを作ったのが自分であることを忘れて始める地球ゲーム。
自分で作ったゲームの仕組みも忘れて始める地球ゲーム。
何も出来ない赤ちゃんから始める地球ゲーム。

16

時間、空間、重力がある世界で始める地球ゲーム。
 あらゆる感情（喜び、悲しみ、怒り、悲しみ、憎しみ、、、、）を経験する地球ゲーム。
 困難、欠乏感、不足感の中に行き続ける地球ゲーム。
 他人との比較の中で行き続ける地球ゲーム。

17

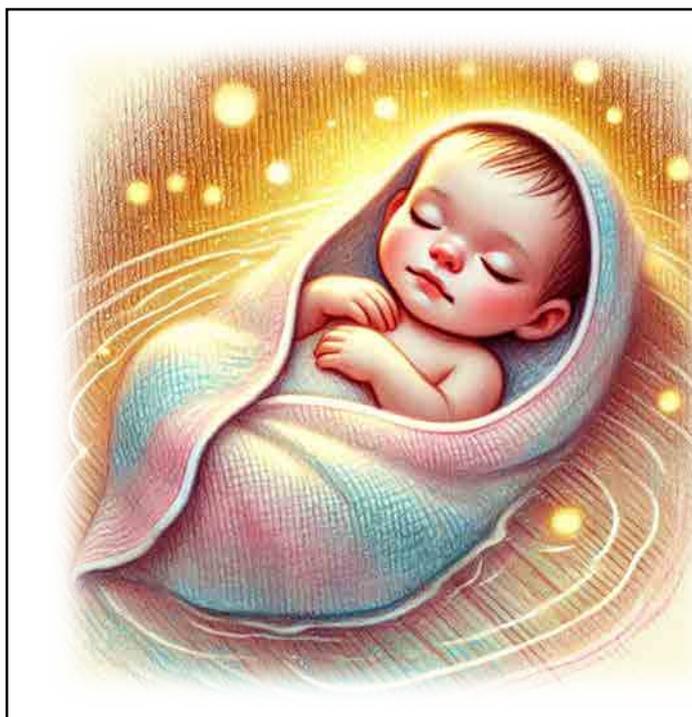


18



どの時代の、どこの国の、ど
んなお父さん・お母さんのも
とに生まれて来るか、全部ち
決めて始める地球ゲーム。

19



全部忘れて何も覚えていない、自
分で立ち上がることも出来ない、
言葉を話すことも出来ない、トイ
レにも行けない、何も一人で出来
ない、そんな不自由な赤ちゃんか
ら始める地球ゲーム。

20



ゆっくり、時間をかけて成長し、ゆっくり時間をかけて老いていくそんな地球ゲーム。

ゆっくり時間が流れているようで、あっと言う間に時間が過ぎてしまう地球ゲーム。

21



『時間の壁』を痛感するために、タイムマシンが一切使えない地球ゲーム。

失敗しても過去にもどってやり直せない地球ゲーム。不安な時でも未来に行って情報を先取り出来ない地球ゲーム。

22



『空間』の壁を痛感するために、瞬間移動の魔法が使えない地球ゲーム。

自分の足で歩いて、疲れても時間をかけて移動しないといけないそんな地球ゲーム。

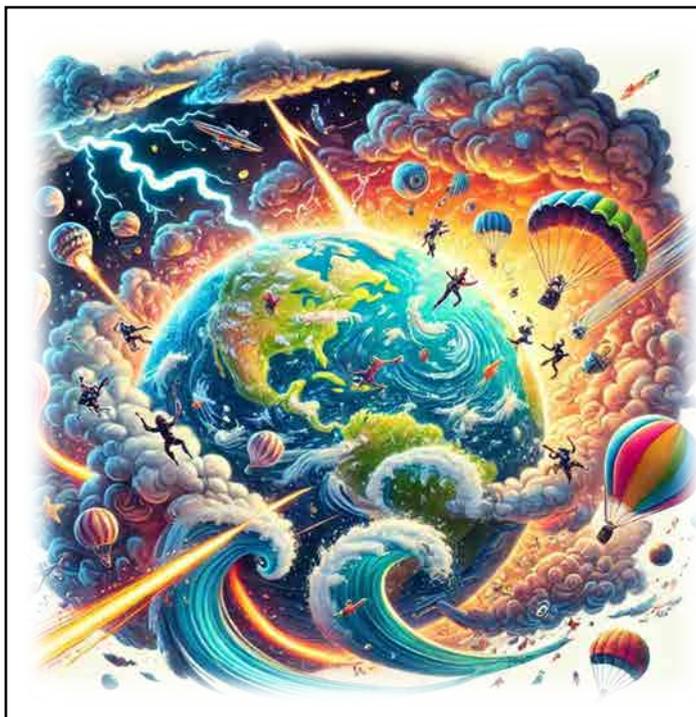
23



『重力』の壁を痛感するために重さがある地球ゲーム。

身軽に走り回れない地球ゲーム。お空を自由に飛び回る魔法が使えない地球ゲーム。

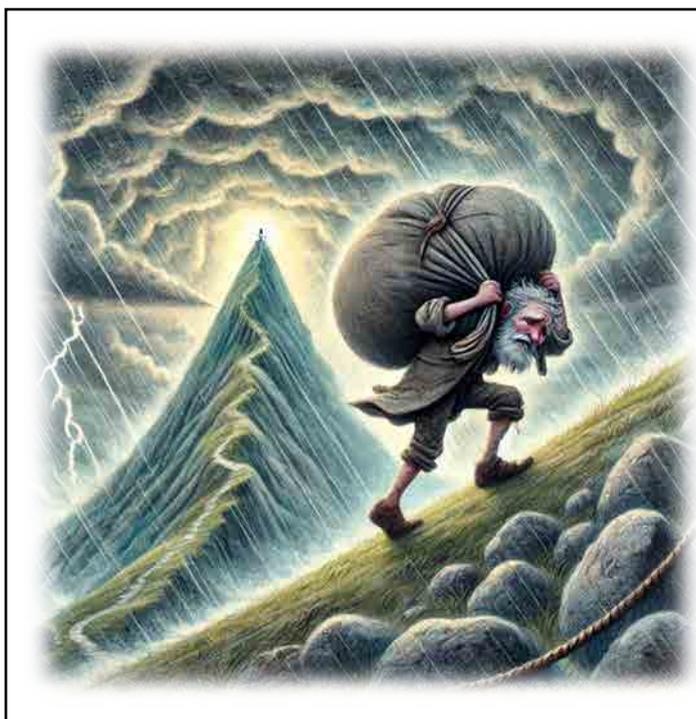
24



今まで出来ていたことが全部できなくなって不自由さMAXを満喫するそんな地球ゲーム。

記憶を無くしているのに、何で出来ないのか理解できない地球ゲーム。波乱万丈な地球ゲーム。

25



いままで体験出来なかったあらゆる困難さ、あらゆるネガティブな感情を毎日味わえるそんなプレッシャーだらけの地球ゲーム。

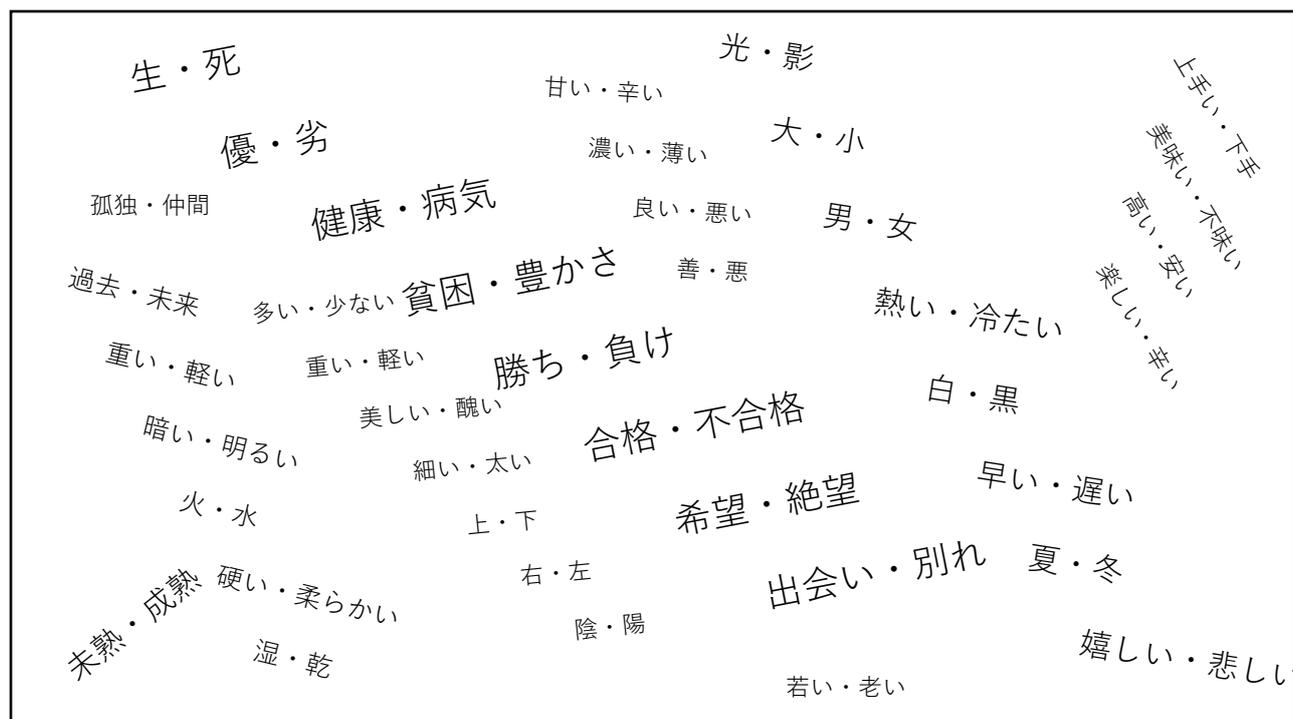
26



2つの真逆のことから生まれる
ギャップ、コントラストを楽しむ
そんな地球ゲーム。

コントラストの中から生まれる苦
悩を楽しむ、そんな地球ゲーム。
苦悩から経験値をためて成長を掴
み取る、そんな地球ゲーム。

27



28



オンリーワンではなくて、他人と比べてナンバーワンにならないと気がすまない。そんな地球ゲーム。

負け試合で、無価値感、劣等感、絶望感を感じる、そんな地球ゲーム。

29



お金も無い、能力もない、時間も無い、チャンスも無い、『無い、無い、無い』の欠乏感・不足感の中で生きる、そんな地球ゲーム。

本当は『有る』のに、『無い』と信じて生きるそんな地球ゲーム。

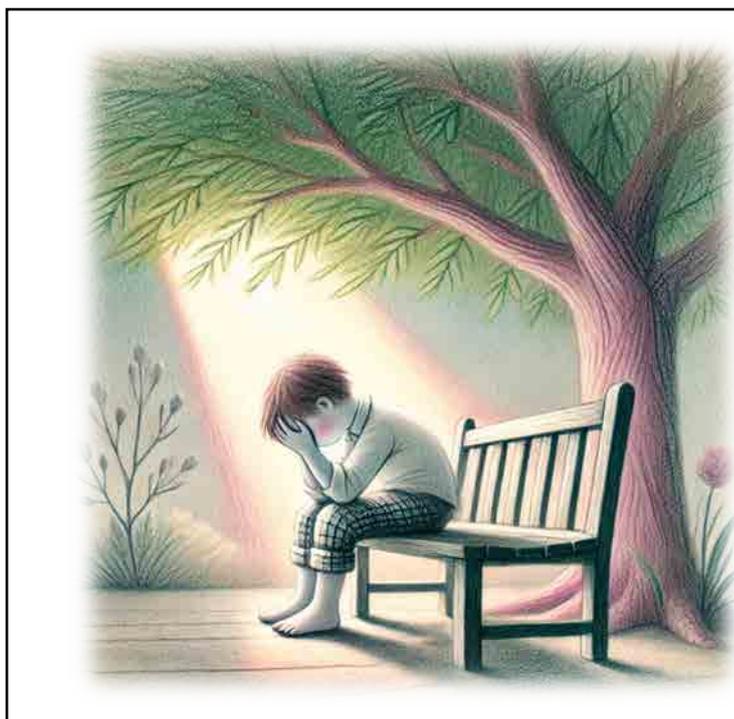
30



本当は仲間がいるのに、自分は孤独だと信じて生きるそんな地球ゲーム。

友情も絆も感じられない、そんな地球ゲーム。

31



地球ゲームにワクワクして参加したはずなのに、自分で作った地球ゲームを『真剣』に楽しんでいたはずなのに、、、自分で作ったことも忘れて、『深刻』さに飲み込まれてうんざりする地球ゲーム。時に絶望感すら感じる、そんな地球ゲーム。

32



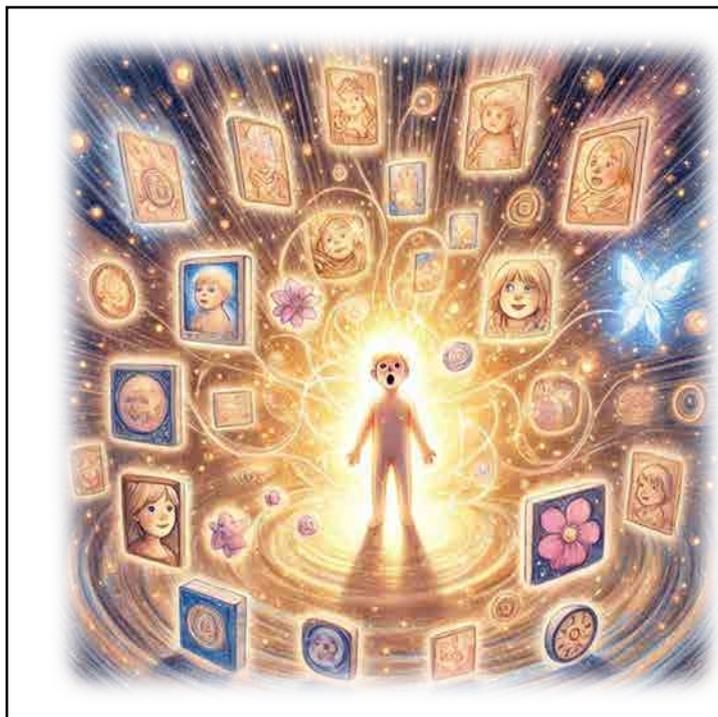
『寿命』という時間制限がある地球ゲーム。

33



制限時間に達した時、地球ゲームで選んだ肉体を離れて、また宇宙に帰って行く、そんな地球ゲーム。

34



地球人として死んで宇宙にも
どって、また全てを思い出す地
球ゲーム。

死んで目覚めて、地球で経験し
た全てのことを思い出す地球
ゲーム。

35



地球で出来たこと、やり残したを
全部思い出す地球ゲーム。

やり残したことを何度でもやり直
しに来る地球ゲーム。

姿かたちを変えて何度でも何度で
も挑戦しに来る地球ゲーム。

36



地球ゲームを始めるたびに、毎回
全てを忘れて始める地球ゲーム。

前回のゲームから学んだ教訓を思
い出せない地球ゲーム。

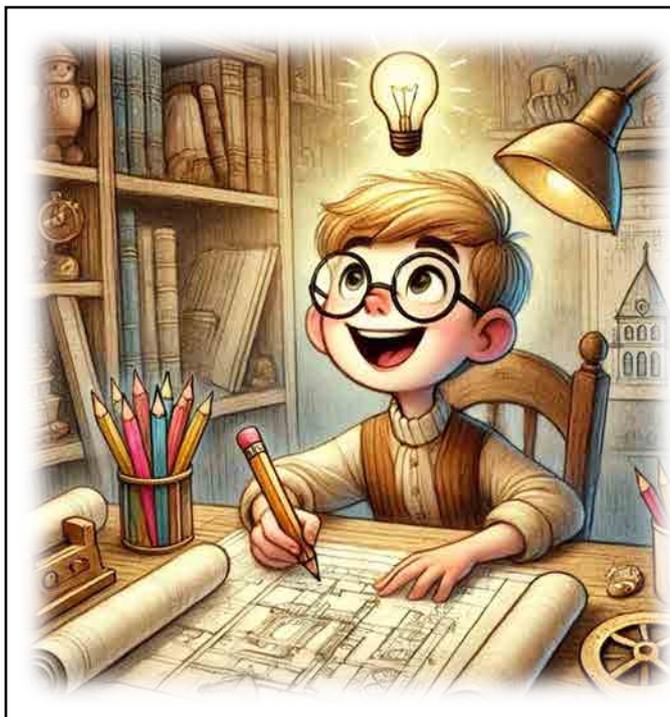
前回から同じことの繰り返しの地
球ゲーム。

37

でも、地球ゲームはバクっても良い

ゲーム中に目覚めても良い

38



ゲームの初期設定を別のものに再設定可能なことをゲーム中に思い出す選択肢もある、そんな目覚めた地球ゲーム。

ゲーム中に急に目が冷めて、今までリアルに感じていた現実が全てイリュージョンであることに気がつく選択肢もある、そんな目覚めた地球ゲーム。

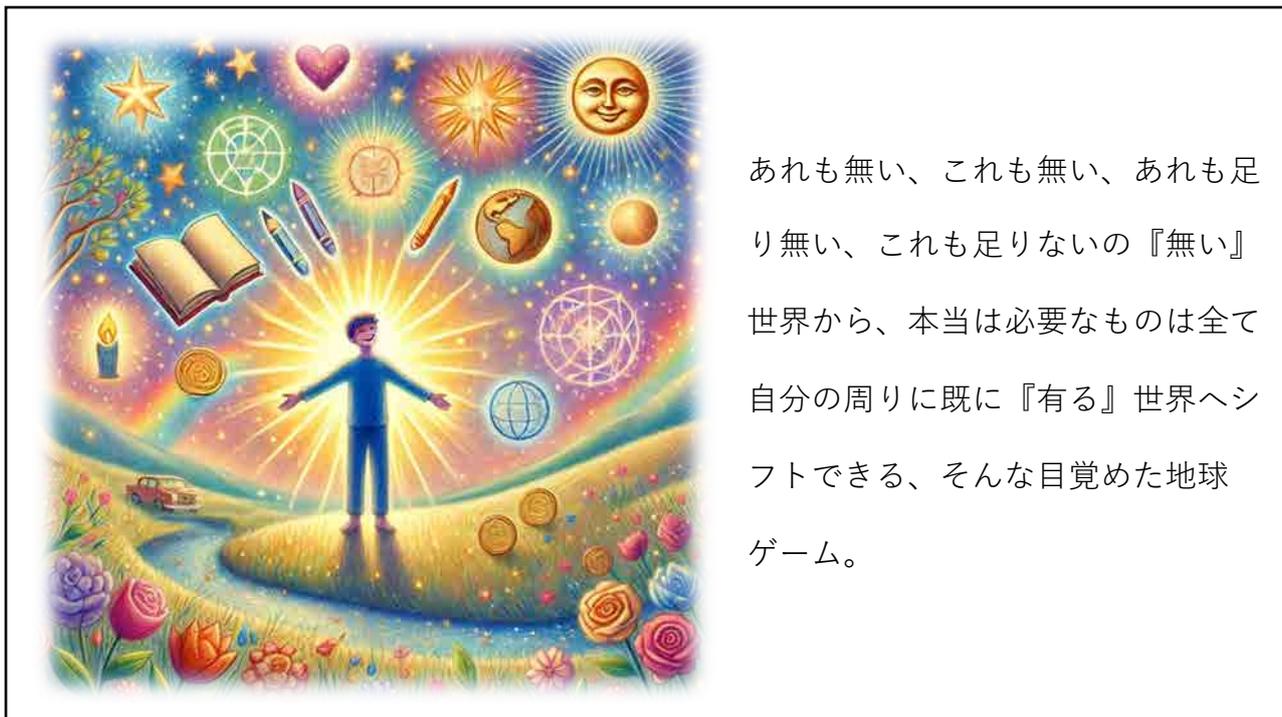
39



参加者がみんな主人公であることを思い出す、そんな目覚めた地球ゲーム。

それぞれが選んだ成長の道で、自分の居場所を見つけられる、そんな目覚めた地球ゲーム。

40



あれも無い、これも無い、あれも足り無い、これも足りないの『無い』世界から、本当は必要なものは全て自分の周りに既に『有る』世界へシフトできる、そんな目覚めた地球ゲーム。

41



あれも出来ない、これも出来ない、何にも『出来ない』世界から、やりたいことが全部『出来る』世界を再選択出来る、そんな目覚めた地球ゲーム

42



ひとりひとりが、輝く才能を発揮しても、誰とも摩擦が起きない、そんな目覚めた地球ゲーム。

ひとりひとりの才能が、調和的に融合し、大きな絆を作る、そんな目覚めた地球ゲーム。

43



ひとりひとりの輝きが、ぴったり組み合わせあって、素敵なパズルが完成する、そんな目覚めた地球ゲーム。

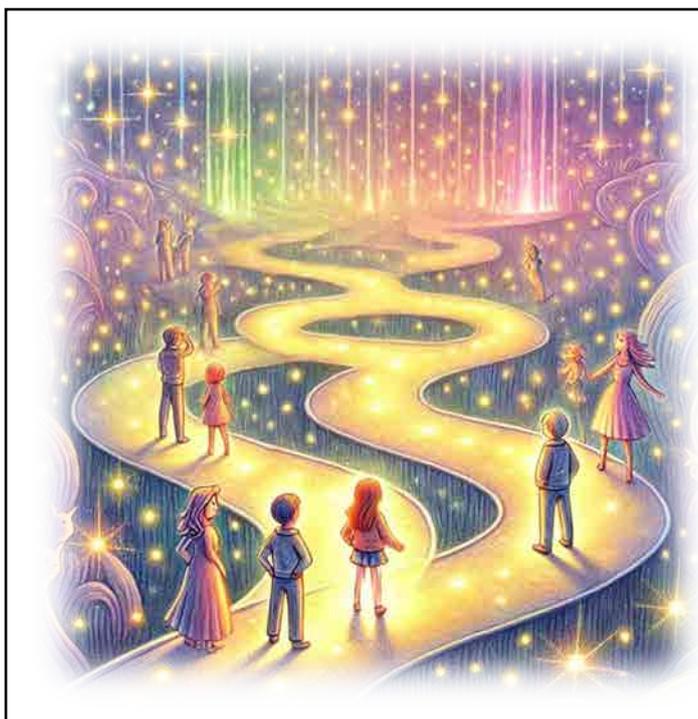
全ての人に大きなパズルを完成させるための唯一無二の役割がある、そんな目覚めた地球ゲーム。

44



時間の壁を超え、空間の壁を超え、重力の壁を超え、どこまでも広がっていく絆を経験出来る、そんな目覚めた地球ゲーム。

45



出来るか出来ないかではなく、どの道を選択したいか、したくないかの自由意志で全てが決められる、そんな目覚めた地球ゲーム。

46



不完全な自分ですら、完全な自分が選んだ選択肢の一つに過ぎないこと思い出す、そんな目覚めた地球ゲーム。

自分は、どんな扉も自分の意思で選んで開けることができる完全性の塊だと気づく、そんな目覚めた地球ゲーム。

47



これまでの地球ゲームとこれまでの宇宙ゲームの融合。地球と宇宙の新しい絆。

新しいゲームの始まりを体験出来る、そんな目覚めた地球ゲーム。

48

新しい地球ゲームの始まりです。

今、ここで、この瞬間、何を選択しますか？